

～多様な主体性を涵養する教育～



あじさいの花が雨に映える季節となりました。

先日は、台風の状況に合わせて対策をさせていただきました。防災のたよりなどを確認していただき、また子どもたちの安全を守っていただきありがとうございます。これからも防災に備えて園での安全管理を継続していきたいと思っております。

さて、先月の中旬に生活習慣チェックシート「できるかな！」に挑戦しました。子どもたちが自分でシールを貼ったり、目標にしたりして生活を進めた様子がメッセージから伝わってきました。

お家の方が書いてくださったプラスメッセージは、子どもたちの自信につながります。素敵なメッセージがたくさん記載されていました。

幼児期は、身体も脳も急激に発達する時期
～規則正しい生活は、その土台となる～



○心身の健康と脳の発達 「脳の活性化と成長ホルモンを考える」

「はやね、はやおき、あさごはん」のサイクルは、体内時計を整え、成長ホルモンの分泌を促します。また、決まった時間に朝食を摂ることで脳にエネルギーが補給され、日中の活動への集中力や意欲が高まります。

○身体のコントロール機能の向上

着替えてボタンを留める、スプーンを持つ、靴を履くといった動作は、手先の器用さ（微細運動）や身体のバランス感覚（粗大運動）を養うトレーニングになります。

○自立心と自己肯定感の育成（心理的な発達）

自分でできたという経験の積み重ねが自信になり、自己肯定感の芽生えにつながります。この度の生活習慣チェックシートを目標にしたり、お家の人に見守ってもらったりする中で「自分で靴が履けた」「パジャマが着られた」という成功体験を重ねることで、できるんだという自信（自己肯定感）が育まれています。

○社会性と協調性の土台（集団生活への適応）

基本的な生活習慣は、他者と心地よく過ごすためのマナーでもあります。

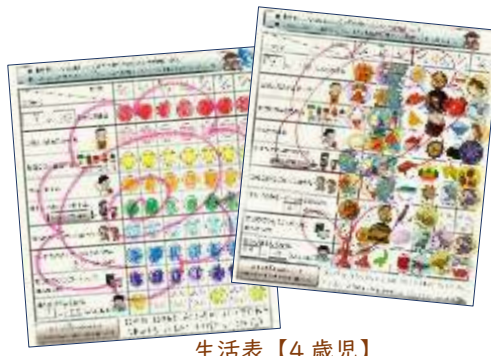
集団生活がスムーズになり、習慣が身につくと、子ども自身が周囲の流れに遅れることなく、余計なストレスや不安を感じずにのびのびと過ごせることにも繋がります。



～うれしい生活体験がいっぱい！お家の人たちからの素敵なプラスメッセージ入り～



生活表【3歳児】



生活表【4歳児】



生活表【5歳児】

各家庭で楽しく生活習慣のリズムが身につくよう取り組みをしました。
例えば、ご飯の前には手を洗う、服が汚れたら着替えるといった習慣は、社会における公衆衛生やマナーの意識にもつながっていくものです。
生涯の中で一番定着しやすい幼児期に、生涯にわたる「自己管理能力」の獲得をしていくことがとても大切です。園でも家庭でも身近な大人が働きかけて規則正しい生活を大切にしていきたいですね。
生活の中で「自分でしようとしたね。」「ボタンがひとつとめられたね。」とそのプロセスを具体的にほめるようにすると自然に生活習慣が身についていくと思います。

自分自身の興味・好奇心から始まる遊びを大切に
～人間が生きる力を育むための最強の学びの場～

- 自ら選んでする遊びの充実＝他者とのかかわりの中で主体性と意欲を育む
- 遊びの中で「試行錯誤の経験」＝問題解決能力や折れない心を身につける
- 遊びは無限の「創造力」と「想像力」＝新しい価値やストーリーを生み出す力の育成
- 仲間と夢中になって遊ぶ体験を積み上げる＝社会性と感情のコントロールの習得



教師は、遊びの環境を整えてそっと寄り添います。
1人1人へのねらいと願いをもってかかわります。



～6月あさがおイラスト～
優しい気持ちと協調性をもつ
みなみさん

文責 まつなが あい